

都市再生に向けた取り組み

第30回全国都市緑化とっとりフェア
平成25年9月21日～11月10日



花トリピー

平成24年11月1日

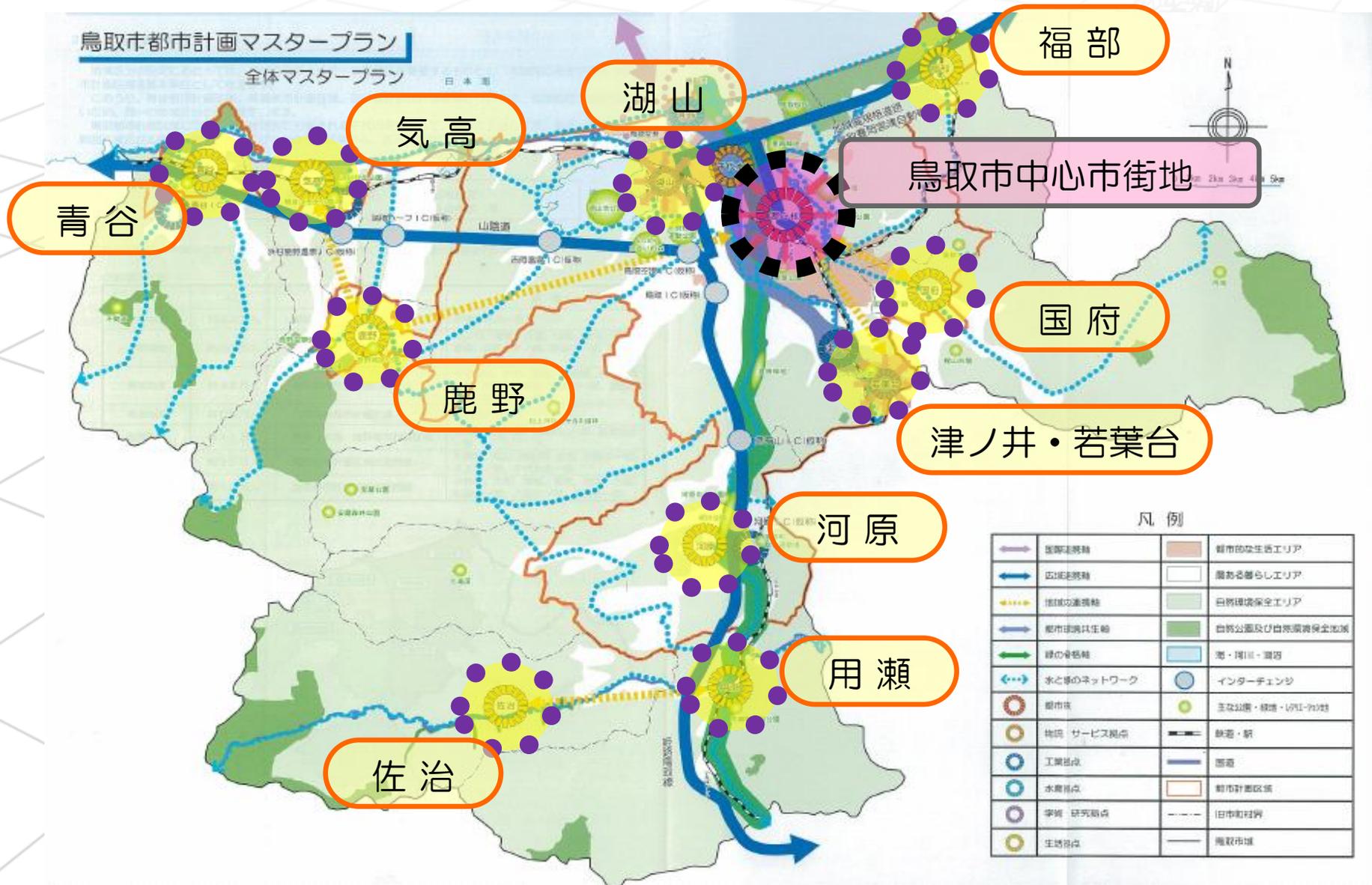
鳥取市長 竹内 功

鳥取市



鳥取市がめざすまちづくり

多極型のコンパクトなまちづくりのイメージ



鳥取市における都市再生の方向性

中心市街地の再生

- 県東部圏域の中心核である旧市の中心市街地の再生

地域生活拠点の再生

- 旧市の湖山地区や若葉台地区、合併により加わった新市域の中心部などの地域生活拠点の再生

公共交通基盤の充実・強化

- 中心市街地と地域生活拠点を結ぶ公共交通基盤の整備

A 3D wireframe model of a city grid, showing various building heights and structures. The grid lines are light gray, and the buildings are represented by white rectangular blocks of different sizes and heights, creating a perspective view of an urban layout.

取り組み事例①

【中心市街地の再生】

現基本計画の概要

◆計画区域

210ha

◆計画期間

平成19年11月～平成25年3月(5年5カ月)

◆目 標

二核二軸の都市構造を踏まえた「住みたいまち」、「行きたいまち」、「ふるさとを感じるまち」の実現

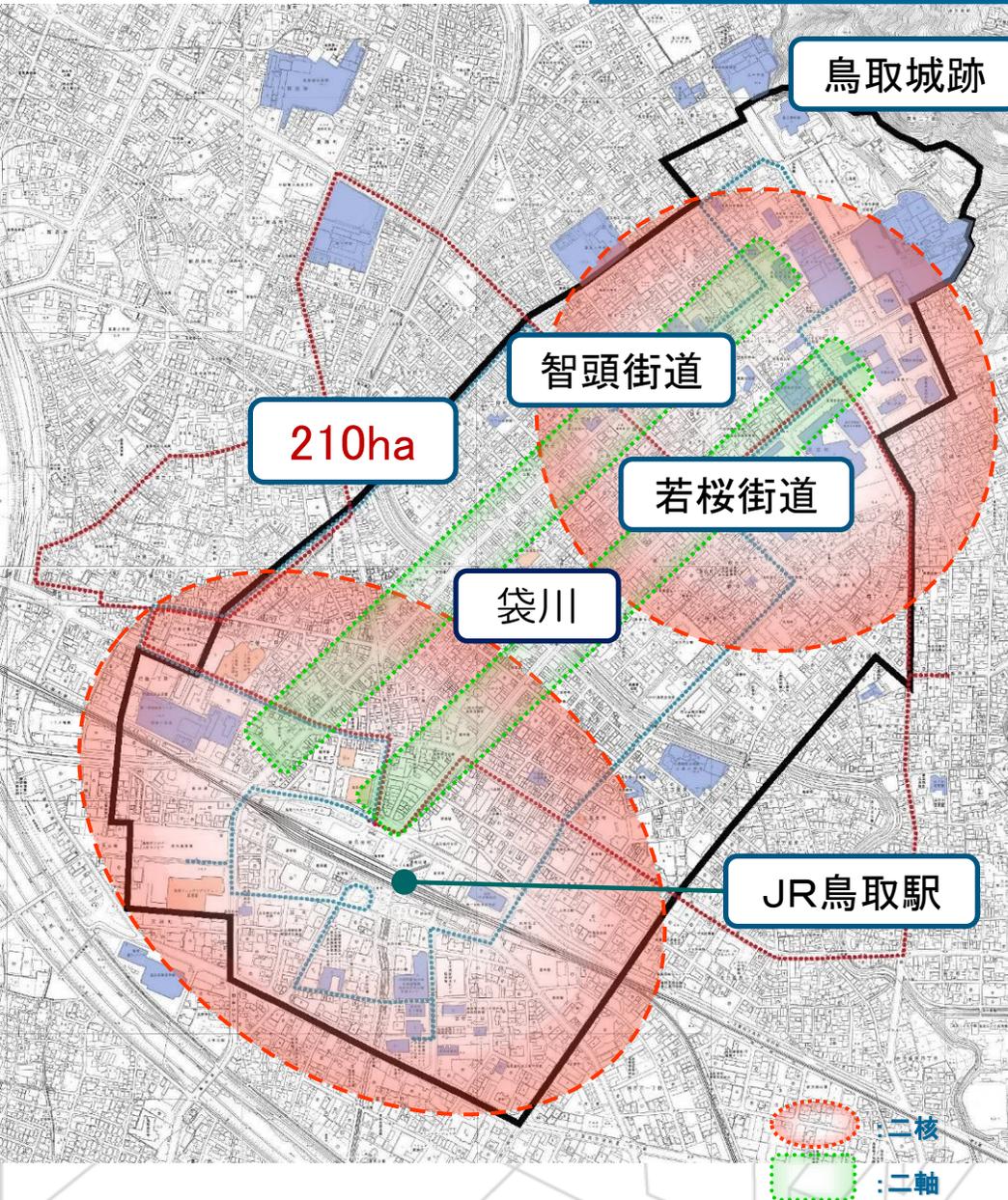
◆目標指標

①居住人口 ②平日歩行者通行量 ③空き店舗数
④文化施設の入込客数

◆計画事業

73事業(平成23年度末現在、25事業が完了、43事業が実施中)

現基本計画の考え方



● 鳥取城跡周辺地区

歴史・文化・自然などの地域資源を活かし、人が憩う居住・交流の核

● 鳥取駅周辺地区

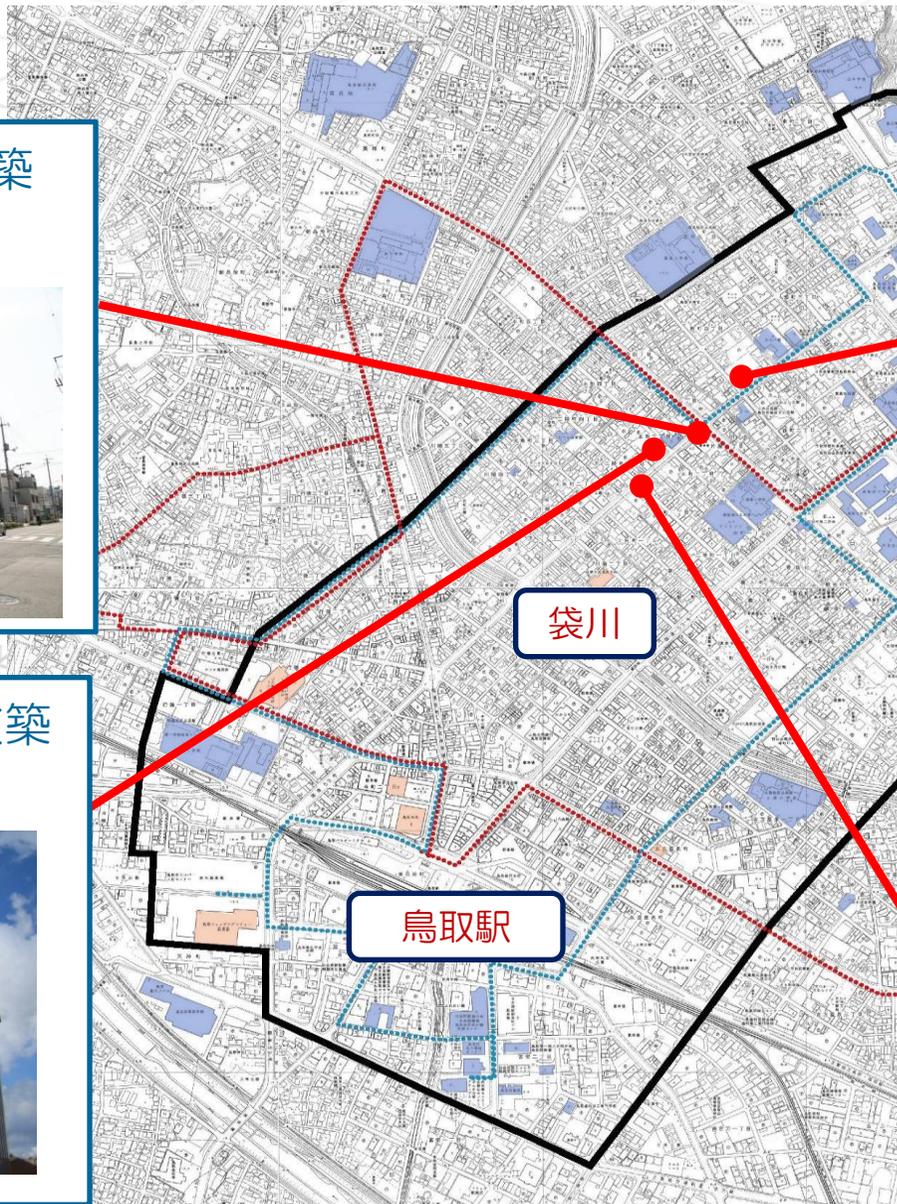
人が集まり、ものや情報も行き交う、高度利用を進める賑わいのある経済・交流の核

● 二核を結ぶ軸

二軸上の拠点や既存ストックを活用した取り組みによる回遊性の高い都市軸

- : 主要公共施設 (公共機関、教育文化、医療福祉)
- : 主要商業施設
- ⋯ : 100円循環バス「くる梨」赤コース
- ⋯ : 100円循環バス「くる梨」青コース
- : 中心市街地活性化区域

現基本計画のおもな事業【鳥取城跡周辺】



鳥取城跡

市営片原駐車場改築
【平成22年度完了】



西町緑地整備
【平成23年度完了】



袋川

鳥取産業会館移転改築
【平成20年度完了】



鳥取駅

五臓圓ビル再生活用
【平成22年度完了】



現基本計画のおもな施策【鳥取駅周辺等】

空き店舗への新規出店支援
【平成13年度～】



駅前アーケード改築
【平成21年度完了】

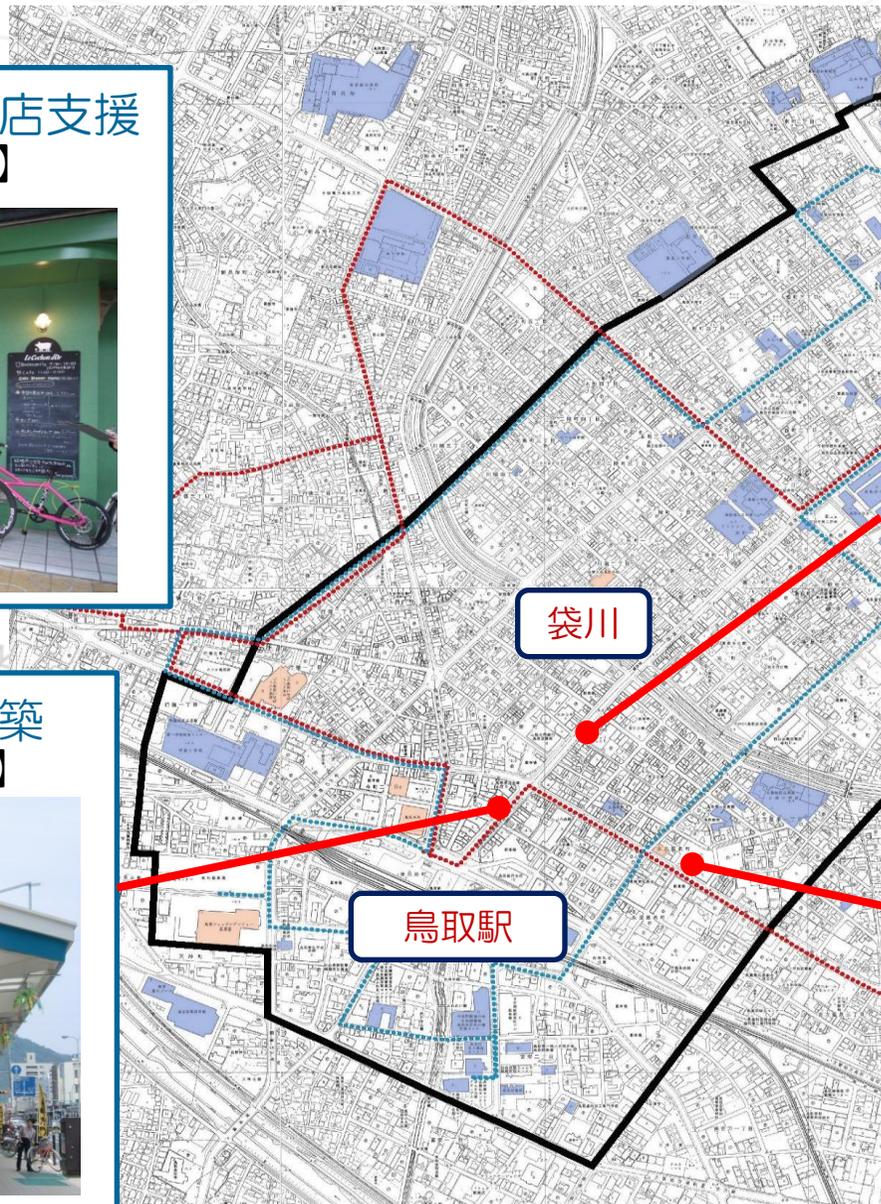


鳥取城跡

パレットとっとり運営
【平成17年度～】



鳥取生協病院移転改築
【平成19年度完了】



第2期中活基本計画の策定

- ◆平成24年度においては、第2期中活基本計画(計画期間 H25年度～H29年度)の策定に取り組むことにより、引き続き、中心市街地再生の取り組みを推進。
- ◆計画策定にあたり、有識者等で構成する「鳥取市中心市街地活性化基本計画検討委員会」を中心に検討。
- ◆中心市街地活性化協議会、地元自治会、商店街関係者等との意見交換会を随時開催。
- ◆10月10日～31日まで、計画(案)に対する市民政策コメント実施。

検討委員会メンバーによる現地調査➤



第2期計画(案)の概要①

エリアコンセプト(5年間でめざす中心市街地の姿)

◆ 目 標

- ①街なか居住の推進
- ②賑わいの創出

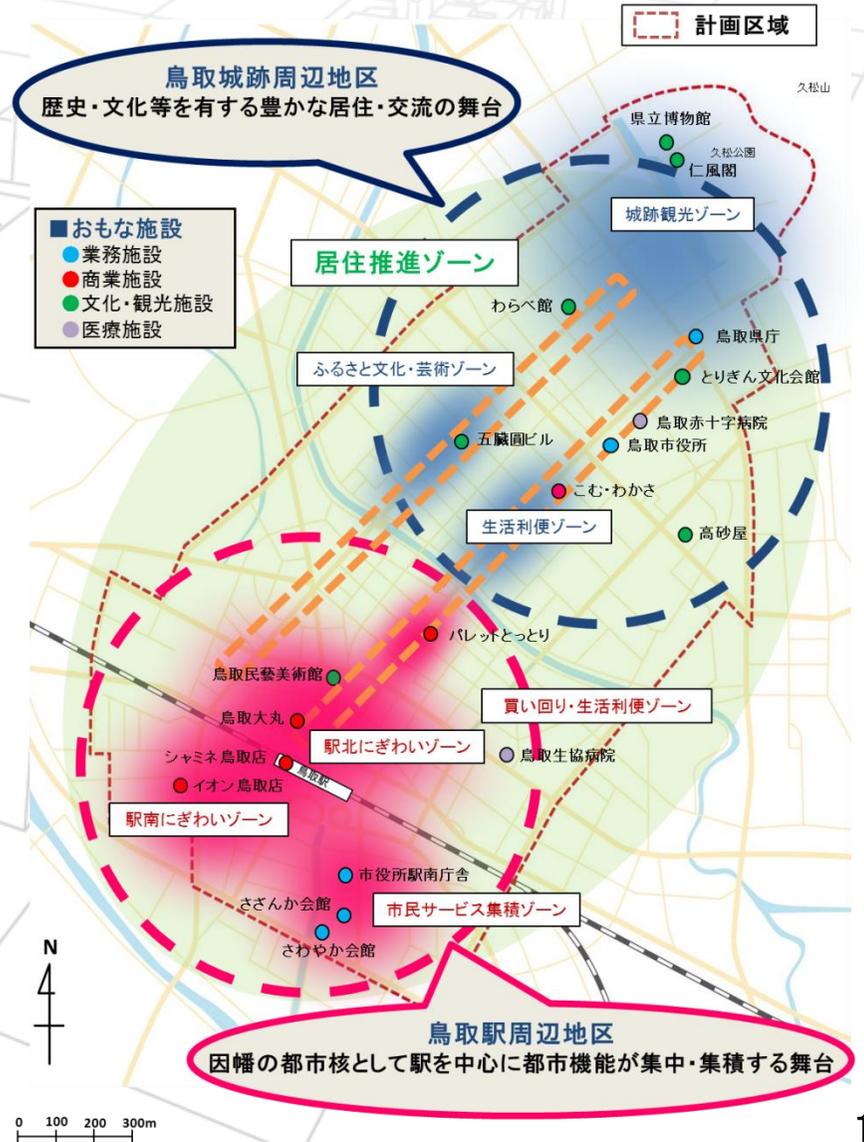
◆ 目標指標

- ①居住人口(社会増減数)
- ②歩行者通行量(平日・休日)
- ③新規開業数(商店街区等)

◆ 計画事業

55事業
(内 訳)

- ・新規 16事業
- ・継続 39事業(現計画未掲載事業含む)



第2期計画(案)の概要②

◆重点施策

- 既存ストックの活用等による街なか居住の促進
- 鳥取駅周辺の多様な機能の活用・拡充等による賑わいの再生
- 公共交通の拡充等による中心市街地内の交通環境の改善・回遊性向上
- 地域資源の活用等による観光交流の促進

◆計画推進にあたって

- 地域内連携
- 人材発掘・育成
- 情報交流・合意形成
- 雇用創出
- 環境に調和したまちづくりの推進



JR鳥取駅北口広場

第2期計画(案)事業の例①

◆市道駅前太平線賑わい空間活用事業

➤道路空間を再配分(4車線⇒2車線)し、鳥取駅前に整備する全天候型広場をイベント等に活用することにより、新たな賑わいを創出する。



鳥取駅側から見たイメージ



鳥取駅コンコース
内で展示中の模型

第2期計画(案)事業の例②

◆100円循環バス「くる梨」運行事業

➤平成15年度から2路線を運行。

街なかの移動手段として定着。

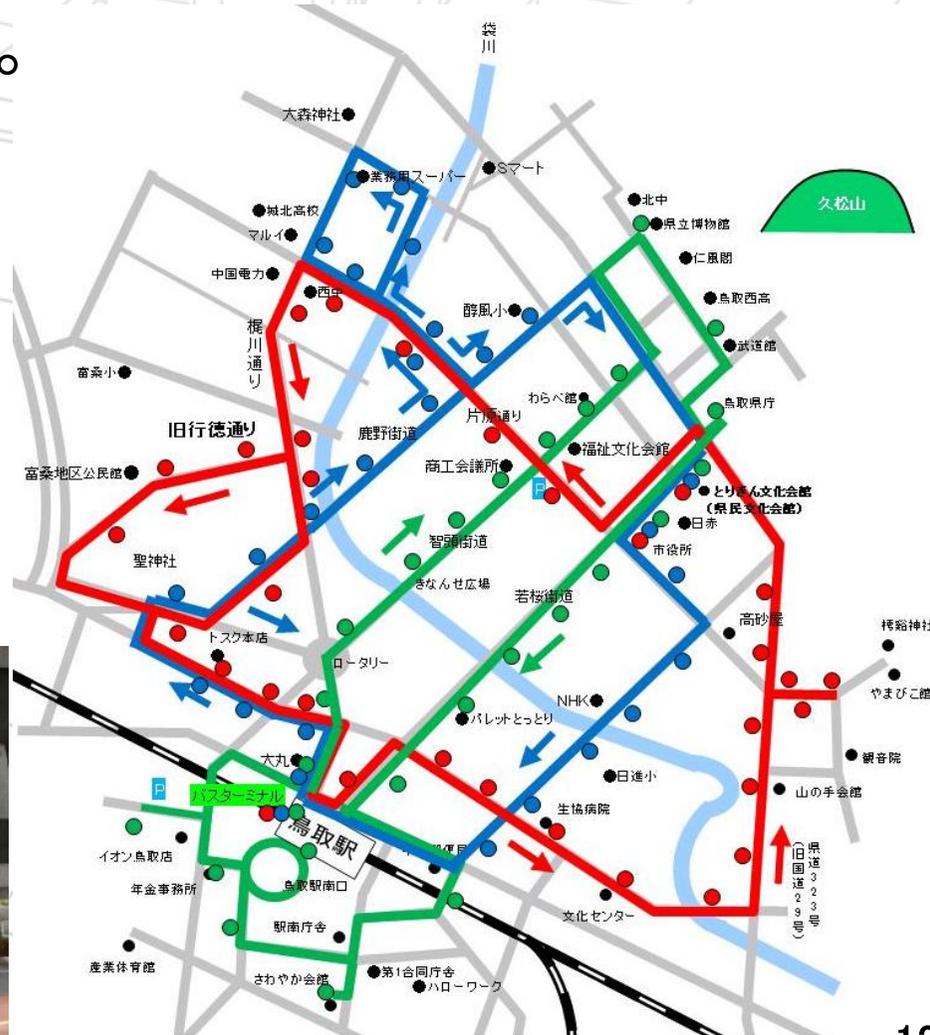
➤鳥取駅周辺と鳥取城跡周辺を

結ぶ1路線(緑コース)を増設し、

3路線を運行予定。



「くる梨」路線図



A 3D wireframe illustration of a city grid. The grid is composed of light gray lines forming squares. Various rectangular blocks of different heights and widths are scattered across the grid, representing buildings. The perspective is from an elevated angle, looking down and slightly to the side. The text is centered over the grid.

取り組み事例②

【地域生活拠点の再生】

都市再生整備計画(用瀬地区)

もちがせ



◆まちづくりの目標

安全で安心して暮らしやすい魅力的な地域生活拠点の実現

◆まちづくりの方針

- ①安全で安心して暮らせる、人に優しいまち
- ②公共交通の強化による利便性の高いまち
- ③地域資源を大切にした魅力的で快適なまち

まちづくり方針①

【安全で安心して暮らせる、人に優しいまち】

◆計画事業

- 安心して歩ける、人にやさしい道路整備事業
- 瀬戸川沿いの照明の設置（自然エネルギーを利用）

◆その他関連事業

- UJIターン促進事業
- 空地、空き家バンクの充実
- 市道別府美成線の歩道整備
- 用瀬中学校耐震補強事業 など



人にやさしい道路のイメージ



LED照明灯イメージ

まちづくり方針③

【地域資源を大切にした魅力的で快適なまち】

◆計画事業

- 街なみ形成ガイドライン策定
(住まいづくりのルール)
- 瀬戸川や街道の修景整備
- 案内サインの整備
- 子どもの遊び場・交流のための
広場整備



街なみや住まいづくりのルール化



ルールに基づく修景のイメージ



サインイメージ

A 3D wireframe illustration of a city grid with various building heights, rendered in a light gray color. The grid lines are thin and the buildings are simple rectangular blocks of varying sizes, creating a perspective view of an urban layout.

取り組み事例③

【公共交通基盤の充実・強化】

南部地域実証運行計画

◆背景・目的

- 利用者の減少 ⇒ 減便・廃止などのサービス低下
- ⇒ 買物や通院に困る移動困難者の増加
- ⇒ 高齢運転手による事故の多発



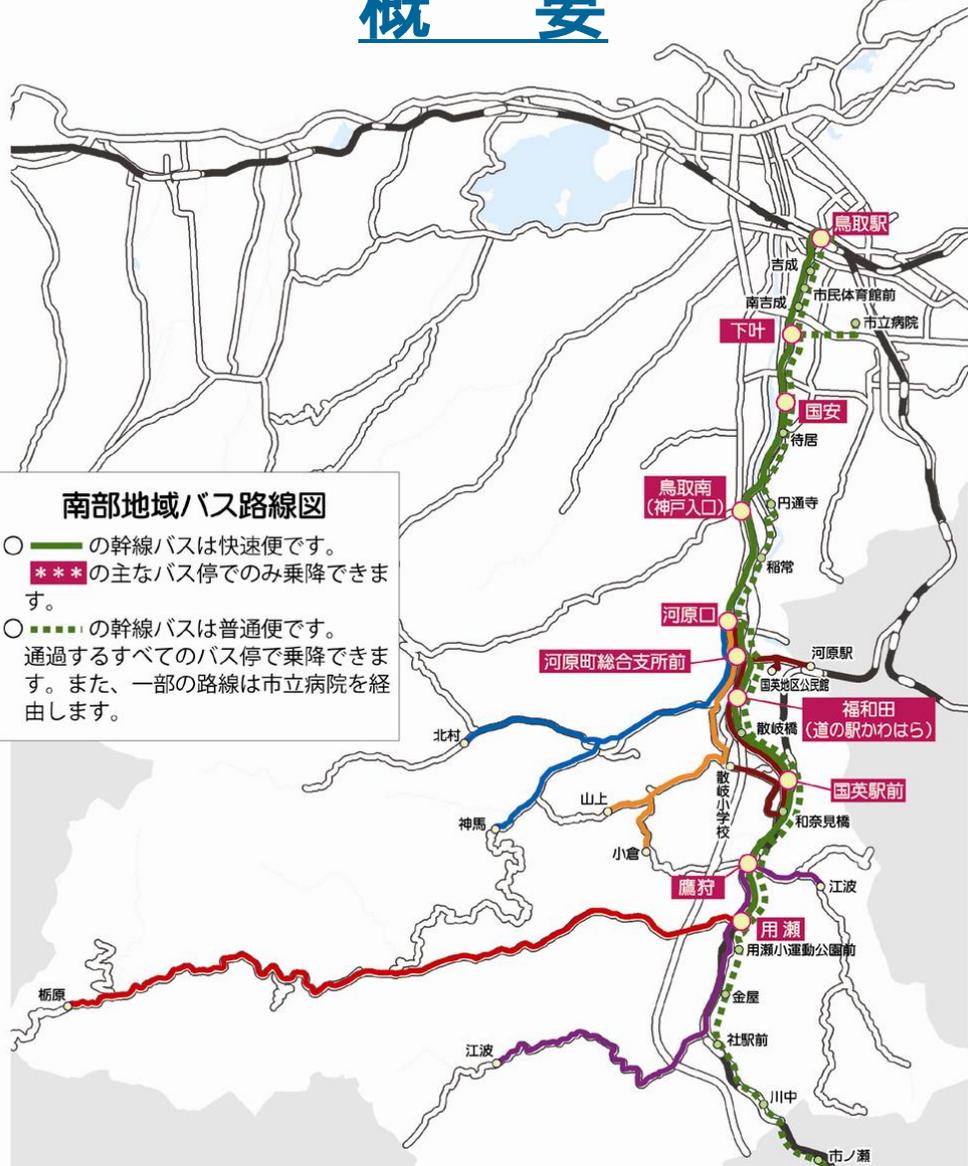
- 公共交通体系を抜本的に見直し、利便性が高く、効率的な新たなシステムを構築することが必要



- バス路線網を再編し、鉄道、タクシー、自転車等、他の交通手段との連携による「新しい総合交通システム」の構築をめざす。

南部地域新総合公共交通計画

概要



南部地域バス路線図

- ——— の幹線バスは快速便です。
*** の主なバス停でのみ乗降できます。
- - - - の幹線バスは普通便です。
通過するすべてのバス停で乗降できます。また、一部の路線は市立病院を経由します。

鳥取バスターミナル



鳥取南



河原



用瀬



◆おもな事業概要

➤ 幹線・支線に分けた効率的なバス運行

【幹線区間】

- ・快速便と普通便の運行
- ・朝夕：15分間隔（6時台～21時台）
- ・高齢者の利用が多い市立病院経由便を設定

【支線区間（6路線）】

- ・沿線住民が利用しやすい時刻設定
- ・公共交通空白地域解消のため、デマンド便を新設（2路線）
- ・需要に見合った車両サイズや運行方法を選択



支線区間のバス車両

◆おもな事業概要

➤乗継拠点の整備

- ・幹線と支線の乗り継ぎをスムーズに行うための拠点を整備(3箇所)

- ・乗継拠点を補完するためのサブ拠点(5箇所)を配置

- ・乗継拠点に、パーク&ライド用の駐車場や駐輪場を整備

➤運賃体系の見直し

- ・幹線は距離制運賃(現行運賃を基本)、支線は均一運賃(200円)とし、幹線と支線を乗り継ぐ場合の乗継割引を設定

➤利用促進の取り組み

- ・公共交通利用への転換を促すノルデ運動の展開

- ・乗継拠点に乗降介助、案内を行う「バスアテンダント」配置



新設された乗継拠点

ご清聴ありがとうございました

